

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：少子政策課

担当名：企画・子育てムーブメント担当

内線：3269

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B53	多子世帯応援クーポン事業			一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	子育て環境づくり対策費	
事業期間	平成29年度～	根拠法令	なし				宣言項目	01 結婚・出産・子育ての希望実現	
							分野施策	010101 きめ細かな少子化対策の推進	
1 事業概要 第3子以降出生時に、子育てサービス等の対象メニューを利用できるクーポンを配布する業務の委託及び市町村が実施する類似事業に対する補助を実施する。多子世帯が家事ヘルパーなどのサービスを利用することで、子育てに係る身体的・精神的負担を軽減し、子育てしやすい環境を提供する。 (1) 多子世帯応援クーポン事業 △233,610千円 (2) 連絡調整会議運営事業費 △ 566千円				5 事業説明 (1) 事業内容 県と市町村が連携して設置した少子化対策協議会において新たな少子化対策を検討したところ、以下の事業を実施することとなった。 ア 多子世帯応援クーポン事業 491,178千円 子育てサービス等の対象メニューを3年間利用できるクーポン事業に係る運営管理の委託及び市町村が実施する類似事業に対する補助を実施する。多子世帯が家事ヘルパーなどのサービスを利用することで、子育てに係る身体的・精神的負担を軽減し、子育てしやすい環境を提供する。 (ア) 県事業 1、2年目にそれぞれ2万円、3年目に1万円を使用できる計5万円分のクーポンを初年度に一括配布 対象サービス：家事ヘルパー、ベビーシッター、一時預かり等 (イ) 市町村事業(任意事業) 市町村が第3子以降を対象に実施する子育てに係るクーポン類似事業に対する補助 クーポン類似事業：商品券、祝い金、バウチャー等 イ 連絡調整会議 1,939千円 事業を円滑かつ効果的に実施するために、県内各市町村との調整を行う。					
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10)、(県1/2)市町村1/2 (2) (県10/10)				(2) 対象者 第3子以降の出生世帯 6,300世帯(平成29年4月1日～平成29年12月31日までに出生分)					
3 地方財政措置の状況 なし				(3) スケジュール H29.4～6 委託事業者の選定 H29.4～9 事業実施内容の詳細検討、決定 H29.10 事業開始 H29.11～ 運用における課題の検証及び効果の検証方法の検討					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円				(4) 補正予算の概要 委託料及び補助金：(1)ア(ア)について、対象者の一部を翌年度チケットの配布としたこと、及び(1)ア(イ)について市町村補助の実績を踏まえたことによる減額。					
予算額				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△234,176							△234,176	258,941
現計額	493,117							493,117	